

3 株式会社フィールドノート

【日 時】平成28年6月21日(火) 10:30～11:55

【場 所】株式会社フィールドノート(東京都港区三田)

【取材先】株式会社フィールドノート 代表取締役 鳥越靖徳 氏

【主なご意見など】

◆プログラム、コンテンツ等について

⇒意欲を引き出すために、外部から与える刺激(インセンティブ)のつけ方と子供へのメリットをクリアにして検討していく必要がある。

子供が「なぜやるのか」という動機づけ、日常の中でやっていることが

気づきにつながることを究極目標。自分で問題を見つけて、自分で解決策を探る。面白い試みではあるが難しい。地域や親との関係も大事。

◆企業(民間委託企業)をまきこむ

⇒自治体から指定管理を取るために、コンテンツ提供は、企業にとっても有益になるかもしれない。

◆指導員がわかりやすい目標、枠組が大切では

⇒毎日繰り返し取り組んで、それによって結果が出て、成果を表彰されるなどのものが良いのでは。

◆学童保育の現場で取り組みやすいテーマを

⇒毎日行っていることとつなげる、また、学童保育の置かれている位置、現地に既にあるものを使ったものが良いだろう。必要なもの、ルール、場所、人数などが明確だとより、わかりやすい。

